

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築計画各論		担当教員	木村 裕安	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	この科目は、店舗・商業施設の設計に関わる基礎を学習する。決められた条件の中で商業施設を自ら考える。RC造の基本的な構造、設備を理解した上で、平面機能を考え、模型を作製し立体的な空間認識力を高める。それに伴い各図面等も作図する。最終的にはコンセプト図、コラージュ、平面図、模型写真をパワーポイントにまとめ発表する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	85 %	他	15 %
教科書	なし		副教材および 参考文献		お店の解剖図鑑		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・オリエンテーション	学習内容、日程、評価、課題説明
第2回	コンセプト図作製 1	コンセプト検討、情報収集
第3回	コンセプト図作成 2	コンセプト作成、内観イメージ等の作成
第4回	コラージュ作成 1	コラージュ説明、案出し
第5回	コラージュ作成 2	材料切出し
第6回	コラージュ作成 3	素材貼り付け
第7回	プラン作成 1	課題確認、エスキース
第8回	プラン作成 2	エスキース内容を立体的にスケッチで表現
第9回	プラン作成 3	図面表記内容の確認
第10回	プラン作成 4	プランの修正
第11回	平面図作成 1	間仕切り等の下描き
第12回	平面図作成 2	設備、家具等の下描き
第13回	平面図作成 3	間仕切り等の本描き
第14回	平面図作成 4	設備、家具等の本描き、寸法、文字
第15回	模型作成(S=1/50) 1	作り方の説明、仕上げ材の検討
第16回	模型作成(S=1/50) 2	仕上げ材の貼付け等(床等)

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	模型作成(S=1/50) 3	床の切出し
第18回	模型作成(S=1/50) 4	外壁、柱の仕上げ材貼付け
第19回	模型作成(S=1/50) 5	外壁、柱、開口の切出し
第20回	模型作成(S=1/50) 6	外壁、柱の組立
第21回	模型作成(S=1/50) 7	間仕切り壁の仕上げ材貼付け
第22回	模型作成(S=1/50) 8	間仕切り壁、開口の切出し
第23回	模型作成(S=1/50) 9	間仕切り壁の組立
第24回	模型作成(S=1/50) 10	床壁の調整
第25回	模型作成(S=1/50) 11	家具部材の切出し
第26回	模型作成(S=1/50) 12	家具部材の組立、着色
第27回	発表準備 1	発表で使用するパワーポイントデータの作成①
第28回	発表準備 2	発表で使用するパワーポイントデータの作成②
第29回	発表準備 3	発表で使用するパワーポイントデータの作成③
第30回	発表、講評会①	各自の作品発表①(1人7分程度)、講評会
第31回	発表、講評会②	各自の作品発表②(1人7分程度)、講評会
第32回	発表、講評会③	各自の作品発表③(1人7分程度)、講評会

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築環境工学		担当教員	木村 裕安	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築士試験学科 I 計画の環境工学の分野にあたる。具体的に室内気候、換気、伝熱・結露、日照・日射・採光、色彩、及び音響など建築の分野で大きな問題となりうる各項目の為、画像や映像の他になるべく身近な具体例をあげるなどの工夫をして授業を進めていく。最終的には2級建築士学科試験学科 I の基礎力を養成する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	図説やさしい建築環境			副教材および参考文献		確認プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・光環境	環境工学の説明、照度と輝度
第2回	照明-1	順応・可視光線・昼光
第3回	照明-2	人口照明・照明計画・均斉度
第4回	色彩-1	色の属性、有彩色・無彩色
第5回	色彩-2	補色、色の心理効果(面積効果・連想)
第6回	温熱環境-1	熱の移動の仕方・伝導・対流・放射
第7回	温熱環境-2	建築材料別の熱伝導率・中空層・熱貫流量
第8回	温熱環境-3	断熱性能・熱損失計算
第9回	結露-1	表面結露 (原因と対策)
第10回	結露-2	内部結露 (原因と対策)
第11回	結露-3	湿り空気線図
第12回	日照・日射-1	太陽と日射・日照・太陽高度・南中高度
第13回	日照・日射-2	直達日射・天空日射・全天空照度
第14回	日照・日射-3	可照時間、終日日影・永久日影
第15回	前期期末試験対策	期末試験の範囲確認、期末試験の過去問題演習
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築設備		担当教員	木村 裕安	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は2級建築士試験学科 I 計画の建築設備の分野を学習する。具体的には建築設備一般、給排水設備、空調設備、及び電気設備に関して、その分類や特徴を学習する。建築設備は利用する人の生命を守る事とその建物の快適さを感じる非常に重要なセクションであり、将来の業種としても各専門分野に多岐に渡って活躍の場が開けている科目である。到達目標は2級建築士学科試験「建築計画」合格レベルとする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	初学者の建築講座 建築設備(第三版)		副教材および参考文献		確認プリント		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・建築設備概論	設備概要・地球環境問題・ZEBとZEH
第2回	省エネルギー設備-1	未開発エネルギー：バイオマス・コージェネレーションシステム
第3回	省エネルギー設備-2	新しい建築設備：スケルトンインフィル、サスティナブル建築
第4回	給排水衛生設備-1	給水設備：給水・給湯方式(ウォーターハンマー・クロスコネクション)
第5回	給排水衛生設備-2	逆サイフォン現象・毛細管現象・寒冷地の給排水
第6回	給排水衛生設備-3	排水設備(トラップ・ディスポーザー)
第7回	空気調和設備-1	空気線図の解き方・顕熱&潜熱
第8回	空気調和設備-2	空調種類(中央式・個別式)
第9回	換気設備-1	換気設備(自然換気)
第10回	換気設備-2	換気設備(機械換気)
第11回	電気設備-1	電力設備、電気設備基礎(電圧・電流・抵抗値)
第12回	電気設備-2	照明設備・器具(フリーアクセスフロア・タスクアンビエント)
第13回	防災設備-1	火災の種類と消化方法
第14回	防災設備-2	色々な消化設備(スプリンクラー設備・ドレンチャー設備)
第15回	前期期末試験対策	期末試験の範囲確認、期末試験の過去問題演習
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築法規 I		担当教員	勝 康雄	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建物を計画する上で法規(特に建築基準法)を守らなければ設計できないことを理解する。その手段として、過去問題を通して、問題文と条文との関わりや、問題文と実際の建物との関わり等を説明し、建築基準法の理解を深め、実践的な法規の知識を学習する。 (前期は特に単体規定、後期は集団規定を中心に学習する。)						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	25 %	他	25 %
教科書	図解やさしい建築法規 建築関係法令集		学芸出版 総合資格	副教材および 参考文献		確認テスト、過去問プリント等	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、特殊建築物	学科Ⅱ概要と特殊建築物
第2回	用語の定義、面積の算定	主要構造部、構造耐力上主要な部分、敷地面積、建築面積、床面積、延べ面積、容積率等
第3回	建築物の高さ	一般的な場合、傾斜地の場合、地盤面、その他
第4回	建築物の手続きⅠ	建築確認申請概要、建築(行為)、申請を必要とする建築物
第5回	建築物の手続きⅡ	建築確認申請の有無の判定、中間検査・完了検査の概要、その他
第6回	居室の採光Ⅰ	採光上有効な開口面積の算定方法
第7回	居室の採光Ⅱ	採光上有効な開口面積の算定方法
第8回	居室の換気	居室の換気についての概要、換気設備、火気使用室等
第9回	居室の天井高	居室の一般的な場合の天井高の算定、算定演習
第10回	一般構造としての階段	階段各部位の名称・寸法、避難階、色々な用途の階段の寸法等
第11回	その他の一般構造	居室の床高、床下換気口、遮音性能、シックハウス対策等
第12回	構造強度(木造)	木構造について、柱の小径の算定方法、筋かい計算の算定方法等
第13回	構造計算、建物の加わる荷重	構造計算を必要とする建築物、構造計算と確認申請、その他
第14回	防火上の構造制限等	耐火性能、耐火建築物、準防火地域の木造建築物等
第15回	特建による構造制限等	耐火・準耐火建築物の必要性の判定基準
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	構造力学 I		担当教員	亀田無限	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建築構造力学の基本を学び、力学の考え方とその計算方法について、正しい知識を習得することを目的とする。一年次に習得した「反力」と「応力」を基に、「トラスの解法」「断面の性質」の考え方を理解し、建築物を構成する柱や梁に作用する荷重によって、柱や梁に生じる応力を理解する。「トラスの解法」では節点法と切断法の解法、「断面の性質」では断面一次モーメント、断面二次モーメント、断面係数等を利用し、断面の性質を理解する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	10 %	他	20 %
教科書	図説やさしい構造力学 学芸出版社			副教材および参考文献		配布プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、反力・応力計算(1)	1年次の反力・応力計算の復習-1(梁について)
第2回	反力・応力計算(2)	1年次の反力・応力計算の復習-2(ラーメンについて)
第3回	トラスの応力計算(1)	トラスについて、ピン、軸方向力、節点法の解法
第4回	トラスの応力計算(2)	トラスのゼロメンバー(ゼロ部材)について
第5回	トラスの応力計算(3)	切断法の解法
第6回	トラスの応力計算(4)	トラスの練習問題
第7回	トラスの応力計算(5)	節点法・切断法の復習
第8回	断面の性質(1)	断面一次モーメントの計算(断面の図心位置)
第9回	断面の性質(2)	断面二次モーメントの計算(公式と解法)
第10回	断面の性質(3)	断面二次モーメントの計算(応用)
第11回	断面の性質(4)	断面係数の計算(公式と解法)
第12回	断面の性質(5)	断面の性質の復習
第13回	期末テスト対策(1)	前期の復習-1(反力・応力の復習)一年次の復習
第14回	期末テスト対策(2)	前期の復習-2(トラスの問題復習)節点法・切断法
第15回	期末テスト対策(3)	前期の復習-3(断面の性質の問題復習)
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築施工		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築施工管理技術検定の第一次検定合格のための対策授業である。下記対策問題集のうち、第3章(建築施工)の部分进行細かく解説する。難易度が高いとされる躯体工事と仕上げ工事分野を得点源とできるように、より専門性を深めた現場用語・特殊工法等を学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	100 %	課題	0 %	他	0 %
教科書	2級建築施工管理技士 出題分類別問題集		副教材および参考文献		図説 やさしい建築施工・配布プリント及びスライド		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	授業概要 地盤調査	施工管理技士試験について 標準貫入試験 平板載荷試験
第2回	仮設工事 地業工事	遣り方墨出し 足場の安全基準 各地業 杭工事
第3回	土工事 鉄筋コンクリート工事	山留め工事 排水工法 鉄筋の加工組立て
第4回	鉄筋コンクリート工事	コンクリート調合・打設 型枠支保工・解体
第5回	鉄筋コンクリート工事	鉄筋かぶり厚さ・継手・定着 レディーミクストコンクリート
第6回	特殊コンクリート工事	型枠存置期間 押出成形セメント板・ALCパネル
第7回	鉄骨工事	鉄骨の加工 鉄骨建方工事
第8回	鉄骨工事 木工事	継手溶接 高力ボルト摩擦接合 在来軸組構法
第9回	防水工事 石工事	メンブレン防水工事 シーリング 内壁空積工法 張り石工事
第10回	タイル工事 屋根工事	タイル張り各種工法 金属製折板葺き 雨どい工事
第11回	金属工事 左官工事	非鉄金属 LGS壁天井組工事 セメントモルタル塗り
第12回	建具工事 塗装工事	建具金物 鋼製建具 ガラス工事 塗装の素地ごしらえ
第13回	塗装工事 内外装工事	塗装の各工法 インテリア工事 改修工事
第14回	内外装工事	床・壁・天井仕上げ工事 断熱工事
第15回	建設機械と改修・解体工事	揚重運搬機械・重機 分別解体工事の施工順序 3章まとめ
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築一般構造Ⅱ		担当教員	宍倉 良太	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この授業は鉄筋コンクリート造・鉄骨造についてを授業のメインとする。鉄筋コンクリート構造では建築材料の復習を含めコンクリート・鉄筋の各特徴、そして構造としての特徴について学ぶ。鉄骨構造では、鋼材の種類・特徴をはじめ各構造形式について学習し、来年度、多くが受験する二級建築士の学科Ⅲ建築構造の一般構造の基礎を理解するレベルを目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	10 %	他	10 %
教科書	図説「やさしい建築一般構造」		副教材および参考文献		参考画像、プリント類		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・鉄筋コンクリート造①	コンクリートの特徴(セメント、骨材、混和材等)
第2回	鉄筋コンクリート造②	コンクリートの特徴②、鉄筋コンクリートの基礎
第3回	鉄筋コンクリート造③	鉄筋コンクリートの原理・構造形式(材料の特徴、しくみ)
第4回	鉄筋コンクリート造④	鉄筋の配筋計画(特徴、継手、かぶり厚さ)
第5回	鉄筋コンクリート造⑤	各部の構造(梁、柱)・主筋、スターラップ、フープ等
第6回	鉄筋コンクリート造⑥	各部の構造(スラブ、耐力壁、階段)
第7回	鉄筋コンクリート造⑦	壁式鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート構造まとめ
第8回	鉄骨造①	鋼材の特徴、形状(分類、性質、応力度とひずみ度、強度等)
第9回	鉄骨造②	鉄骨造の特徴、構造形式(ラーメン構造、トラス構造)
第10回	鉄骨造③	鉄骨構造①接合、部材の設計(ボルト・溶接接合等)
第11回	鉄骨造④	鉄骨構造②各部の構造(梁、柱、筋交い)
第12回	鉄骨造⑤	鉄骨構造③各部の構造(柱脚、床版、階段、耐火被覆)
第13回	その他の構造	SRC造、補強コンクリートブロック造、プレストレストコンクリート造
第14回	その他の構造②	枠組み壁工法について
第15回	総復習	総復習、期末試験の説明
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	リフォームスタイリスト	担当教員	宍倉 良太	クラス	建築設計科2年
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義
					単位数
					2

授業概要	この科目では9月23日に実施されインテリアコース必須受験の「リフォームスタイリスト資格試験3級」に全員合格することを目指す。お客様への意識、対応のポイント・各構造・設備などの今まで受講した各教科の復習を含めた基本を学習していく。また場所別、高齢者対応などのリフォーム等について過去に出題のある項目に重点を置き学習を進める。					
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。				
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他
教科書	住宅リフォーム実務教本		副教材および参考文献		リフォームスタイリスト資格試験過去問題集	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、リフォームのお客様への心構え	リフォーム事業は「サービス業」
第2回	成功するリフォームの接客方法	初訪問時のお客様への対応等
第3回	知らなければならぬリフォームの基礎知識	住宅の構造と工法、設備の基礎知識
第4回	最新のさまざまなリフォーム(1)	場所別リフォーム(外壁、屋根、玄関、リビング、キッチン)
第5回	最新のさまざまなリフォーム(2)	場所別リフォーム(浴室、洗面所、廊下、階段、収納)
第6回	最新のさまざまなリフォーム(3)	耐震、高齢化対応住宅、省エネ、太陽光発電リフォーム
第7回	リフォーム現場で今すぐ使える集客の方法	販売促進の基本等
第8回	マンションリフォーム現場施工のすべて(1)	マンションリフォーム施工の基礎知識
第9回	マンションリフォーム現場施工のすべて(2)	キッチン・浴室・トイレ・竣工時の各ポイント
第10回	マンションリフォーム現場施工のまとめ	重要箇所確認、模擬試験の実施
第11回	雨漏り調査、クレームが発生した時に	リアルなクレーム事情について
第12回	各法律知識・本試験対策について	各法律過去出題箇所・その他検定対策
第13回	検定対策	過去問題の実施、解説
第14回	検定対策2	過去問題の実施、解説2
第15回	総復習	テスト範囲の復習
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	CAD演習		担当教員	生沼 秀樹	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目では、建築設計業務の中で、二次元の設計図だけではイメージしづらい三次元の完成予想図(パース)をSketchUp(スケッチアップ)という3D-CADソフトを使用して作成する技術を習得することを目的とします。まずは、基本操作から学び先生の説明を聞きながら骨組みを作成し、内観は自分の思い描くイメージを立体として表現する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	70 %	他	30 %
教科書	2級建築士試験 設計製図テキスト			副教材および参考文献		配布プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、基本コマンド操作①	科目説明、画面構成、基本コマンド(画面構成、線、面、長方形、円)
第2回	基本コマンド操作②	移動、コピー、配列コピー、グループ化、コンポーネント化
第3回	基本コマンド操作③	プッシュ/プル、移動/コピーツールの応用、線ツールの応用、フォローミーツール
第4回	カフェ演習①	課題説明、柱、梁、壁3Dモデリング
第5回	カフェ演習②	開口、窓、内外装仕上げ(マテリアル)
第6回	カフェ演習③	3Dウェアハウス(サッシ・建具、家具、ロゴ)による仕上げ、提出
第7回	地下空間3Dモデリング演習①	課題説明、実測・3Dモデリング
第8回	地下空間3Dモデリング演習②	建具配置、床・壁・天井仕上げ(マテリアル)
第9回	地下空間3Dモデリング演習③	家具配置(3Dウェアハウス)
第10回	RC住宅3Dモデリング演習①	課題説明、3Dモデリング、躯体作成
第11回	RC住宅3Dモデリング演習②	階段作成・建具配置等
第12回	RC住宅3Dモデリング演習③	内装・外装仕上げ(マテリアル)
第13回	RC住宅3Dモデリング演習④	売場家具配置(3Dウェアハウス)
第14回	RC住宅3Dモデリング演習⑤	照明設置・外構仕上げ
第15回	RC住宅3Dモデリング演習⑥	まとめ、提出
第16回	作品発表	プレゼンテーション

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	住宅設計		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	この科目は、住宅空間の配列を平面的に計画する住宅プランニングを学習する。「住みやすさ」を追求する上で、最も基本となるゾーニングと動線について理解を深める。テキストの優れた住宅平面事例から、設計のおもしろさと難しさに気付かせる授業を目指す。様々な条件に応じた住宅設計課題をこなしながら、自分の設計コンセプトを発表する体験を取り入れる。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	100 %	他	0 %
教科書	よむ住宅プランニング			副教材および参考文献	エスキース用紙 配布プリント等		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	プランニングとは ゾーニング	授業概要説明 住宅の住みやすさとは ゾーニングの考え方
第2回	動線について エントランス総論	動線の考え方 エントランスとアプローチ エントランスと各室
第3回	社会的空間1	居間と食堂 課題①社会的空間レポート
第4回	社会的空間2	居間と和室 課題①社会的空間レポート
第5回	社会的空間3	居間と庭 課題①社会的空間レポート
第6回	労働的空間1	台所と食堂 課題②労働的空間レポート
第7回	労働的空間2	台所とユーティリティー 課題②労働的空間レポート
第8回	労働的空間3	台所とバックヤード 課題②労働的空間レポート
第9回	個人的空間1	寝室と収納 課題③個人的空間レポート
第10回	個人的空間2	寝室と書斎 課題③個人的空間レポート
第11回	個人的空間3	寝室と洗面・浴室・トイレ 課題③個人的空間レポート
第12回	個人的空間4	寝室と他の個室 課題③個人的空間レポート
第13回	プレゼン課題①(バリアフリー住宅)	課題④車イス対応の家 課題説明 エスキース
第14回	プレゼン課題①(バリアフリー住宅)	課題④車イス対応の家 エスキース
第15回	プレゼン課題①(バリアフリー住宅)	課題④車イス対応の家 作図
第16回	プレゼン課題①(バリアフリー住宅)	課題④車イス対応の家 作図 コンceptまとめ

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	プレゼン発表会1	課題④車イス対応の家 プレゼン・講評
第18回	プレゼン発表会2	課題④車イス対応の家 プレゼン・講評
第19回	プレゼン発表会3	課題④車イス対応の家 プレゼン・講評
第20回	プレゼン発表会4	課題④車イス対応の家 プレゼン・講評
第21回	プレゼン発表会5	課題④車イス対応の家 プレゼン・講評
第22回	プレゼン課題②(併用型住宅)	課題⑤画家の家 課題説明 エスキース
第23回	プレゼン課題②(併用型住宅)	課題⑤画家の家 エスキース
第24回	プレゼン課題②(併用型住宅)	課題⑤画家の家 作図
第25回	プレゼン課題②(併用型住宅)	課題⑤画家の家 作図 コンセプトまとめ
第26回	チャレンジ課題説明 プレゼン発表会0	課題⑥将来の家 課題説明 課題⑤画家の家プレゼン・講評
第27回	プレゼン発表会1	課題⑤画家の家 プレゼン・講評
第28回	プレゼン発表会2	課題⑤画家の家 プレゼン・講評
第29回	プレゼン発表会3	課題⑤画家の家 プレゼン・講評
第30回	プレゼン発表会4	課題⑤画家の家 プレゼン・講評
第31回	プレゼン発表会5	課題⑤画家の家 プレゼン・講評
第32回	住宅設計のまとめ	課題⑦住宅設計の振り返りレポート作成 住みやすさとは？

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	エクステリアデザイン		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、外壁や庭園などを含む建築物の外側全体の設計・工事管理に関する専門知識と技術を学習する。2級エクステリアプランナーの学科・実地試験に対応できる程度のエクステリアの基礎知識及びプランニング能力の習得を目標とする。また住宅設計における配置計画や外観デザインにも大きな役割を担っていることを学ぶ。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	100 %	他	0 %
教科書	エクステリアプランナー ハンドブック		副教材および参考文献		2級エクステリアプランナー 学科・実地 本試験問題と解説		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	第1章 エクステリア概論	授業概要説明 エクステリアとは まちなみの知識
第2回	第3章 エクステリアのプランニング	調査と分析 基本計画 課題①レポートA
第3回	第3章 エクステリアのプランニング	門廻り アプローチ 囲い 課題①レポートA
第4回	第3章 エクステリアのプランニング	駐車・駐輪空間 庭 住宅付属物 課題①レポートA
第5回	第4章 エクステリアの構成部材	エクステリア構成部材のマテリアルの知識 課題①レポートA
第6回	第4章 エクステリアの構成部材	建物付属部材 エクステリアの照明 課題②レポートB
第7回	第5章 植栽 シンボルツリー	樹木・草花・配植の基礎知識 課題②レポートB
第8回	第5章 植栽 シンボルツリー	植栽の管理 屋上緑化と屋上庭園 課題②レポートB
第9回	住宅の外観とデザインウォール	住宅のスタイルに応じたエクステリア 課題②レポートB
第10回	西側道路のエクステリアプランニング1	課題③西側道路のアプローチ・配置計画とゾーニング図作成
第11回	西側道路のエクステリアプランニング2	課題③西側道路プランニング図完成・着彩
第12回	南側道路のエクステリアプランニング1	課題④南側道路のアプローチ・配置計画とゾーニング図作成
第13回	南側道路のエクステリアプランニング2	課題④南側道路プランニング図完成・着彩
第14回	北側道路のエクステリアプランニング1	課題⑤北側道路のアプローチ・配置計画とゾーニング図作成
第15回	北側道路のエクステリアプランニング2	課題⑤北側道路プランニング図完成・着彩
第16回	エクステリアデザインまとめ	エクステリアデザインの振り返り 課題⑥レポートC作成